

福岡市政担当記者各位

令和6年5月30日 環境局計画課

今年度も「プラスチックごみ戸別収集モデル事業」を実施します！

福岡市では、更なるごみ減量や温室効果ガスの削減のため、令和8年度以降にプラスチックごみの分別収集を導入することを目指し、準備を進めております。

その一環として、今年度も、引き続き戸別収集及び拠点回収のモデル事業を実施することとしており、戸別収集モデル事業については、6月から実施するため、お知らせいたします。

令和6年度の実施内容

① プラスチックごみ戸別収集モデル事業(指定ごみ袋による夜間戸別収集)

- 対象品目：全てのプラスチック(容器包装プラスチック、プラスチック製品の一括回収)
- 実施時期：第1期:6月、第2期:8月(予定)、第3期:11月(予定) 各1か月間
- 収集頻度：週1回
- 対象地域：第1期:東月隈1～5丁目、浦田1、2丁目(約4,000世帯)

※対象地域の市民への取材はご遠慮ください。



② プラスチック製品回収モデル事業(令和4年度から継続)

- 回収場所：区役所・市民センター等資源物回収ボックス
- 対象品目：プラスチック製品(容器包装プラスチックを除く)
- 実施時期：年間を通して実施(年未年始のみ休み)
- 受入頻度：都度受入

【参考】令和4・5年度の「プラスチック回収モデル事業」の実績

▶ プラスチックごみ戸別収集モデル事業

➡ 西区愛宕浜地区(約3,600世帯)を対象に3か月間実施(令和5年度)

回収量:約21トン

新たなプラスチック原料へのリサイクル率:約5割

リサイクル時のCO2削減効果:約5割(焼却処理時との比較)

※参加者へのアンケート調査の結果、分別が「簡単・やや簡単」と回答した方が約8割、実施期間中の可燃ごみが「減少した」と回答した方が約7割を占めていた。

▶ プラスチック製品回収モデル事業

➡ 回収量:約12トン(令和4年度)、約12トン(令和5年度)

新たなプラスチック原料へのリサイクル率:約7割

リサイクル時のCO2削減効果:約3割(焼却処理時との比較)